

差出人: 大分県建築士会大分支部 <info2@oita-shikai.or.jp>
送信日時: 2023年10月31日火曜日 9:35
宛先: info2@oita-shikai.or.jp
件名: ★事務局ニュース★No.114

2014(平成26)年5月23日創刊



No.114

2023(令和5)年10月31日発刊

目次

必見!! 「おおいたの推しの建築展」絶賛開催中 !!

報告

- ① 建築物グリーン化促進事業
「令和5年度 第1回技術者向け研修会」の開催
- ② 和のすまいをつくろうの開催
- ③ まちづくり・建築よろず相談会の開催

④ 建築甲子園大分県大会選考会の開催

案内

① 今後のイベント等(来月)

- ★①. おりがみ建築教室出前授業 @田尻小学校
- ★②. 建築物グリーン化促進事業
「令和5年度 第1回県民向けフォーラム」 @ビーコンプラザ
- ★③. 松村秀一先生講演会の開催 @NBUエクステンションセンター

② 定期スケジュール(来月)

- ☆①. 監理技術者講習の開催
- ☆②. 建築士定期講習の開催
- ☆③. 既存住宅状況調査技術者講習(新規・更新講習)の開催
- ☆④. まちづくり・建築よろず相談会の開催

③ 連合会からのご案内

- ▲1. 建築士賠償責任補償制度(けんばい)
- ▲2. 民間(七会)連合協定工事請負契約約款の改正
- ▲3. 民間(七会)連合協定 小規模建築物工事約款、
マンション修繕工事約款、
リフォーム工事約款の改正について(お知らせ)
- ▲4. 免状型の一級建築士登録証明書の発行

④ 図書・書式のご案内

- ▲1. 各種契約書類及び契約約款(改正版)の発刊

連載 まっちゃんの伝建地区を巡る旅

⑩ 伝統的建造物群保存地区を巡って(番外編)

～フランス「パリ」、「モンサンミシェル」～

連載 ザキヤマさんの秘境奇行

隔月寄稿としました。来月をお楽しみに!!

交流ひろば

残念ながら、今月は寄稿がありませんでした。

掲 示 板

大支部青年部「班員の募集」について

大支部 賛助会員一覧

→事務局よりお知らせ

※掲載された写真等をご希望の方は、事務局へご連絡ください。



必見!! 磯崎新大分市美術館連携事業

「おおいたの推しの建築展」絶賛開催中 !!

OITA FAVORITE ARCHITECTURE EXHIBITION

2023.10.20 FRI—2023. 11.19 SUN

入場無料 | 大分市美術館 企画展示室 1

10:00-18:00 《休館日 10/23,10/30,11/7,11/13》

主催=大分市・(公社)大分県建築士会・大分市教育委員会
協賛=大分キヤノンマテリアル㈱・キヤノン㈱・(一社)大分県建築士事務所協会・
(公社)日本建築家協会九州支部大分地域会・(一社)大分県建築業協会・
大分県インテリア設計士協会
協力=アートプラザ
後援=大分合同新聞社・NHK 大分放送局・OBS 大分放送・TOS テレビ大分・
OAB 大分朝日放送・エフエム大分・JCOM 大分ケーブルテレビコム・
(一社)日本建築学会九州支部大分支所・日本インテリア学会九州支部



おおいだの



推し

お

の 建築展

磯崎新と大分のまちづくり

おおいたの推しの建築展 - 磯崎新と大分のまちづくり -



昨年末（2022年12月28日）、大分市出身の世界的建築家である磯崎新氏（1931-2022）が逝去されました。氏が生前に展開したその活動は建築分野にとどまらず、芸術・文化の広範囲にわたって偉大な足跡を遺した人物であったことは周知の事実です。では、磯崎新氏とはどのような建築家だったのでしょうか。ここ大分の地は磯崎氏の生まれ故郷であり、彼の思想を理解するための様々な手がかりが残されています。もし仮に磯崎氏がいなかったとしたら、おそらく大分の現在は、随分異なる様相を呈していたはずで、その存在感と影響力は、大分に残された建築群をはじめ、現在のまちなみ、アートシーンに現れているといえます。磯崎氏の建築をはじめ、これまでに築かれた大分の建築文化や建築そのもののもつ魅力に触れていただくことで、本展覧会が大分の未来について思いを馳せるきっかけとなれば幸いです。

なお、「推し」とは、近年使われている造語でイチオシから派生したものとされ、人に薦めたいほど好きなキャラクターやモノを「推し」と呼びます。本展覧会では、大分の建築士たちが推す、すなわち「推し」の建築を展示します。会場は以下のテーマに分けて構成します。

「ARTPLAZA けんちくキッズフォトコンテスト 作品展」

大分キャンノンマテリアル館、キャンノン館の協賛により、子どもたちがアートプラザを被写体として本格的な一眼レフを使用した建築撮影会を実施しました。無垢な感性による建築写真をお楽しみください。

「磯崎新と大分市」

磯崎氏が発表した大分駅周辺における「県都コア構想」の模型や、大分市の中心市街地の変遷をたどる写真展示など、磯崎氏の活動を遺しておおいたのまちづくりを紹介しします。

「オシカツ（推しの建築活動）」

建築士は建築を造る仕事以外に、専門家の立場から様々な社会・地域貢献活動に取り組んでいます。ここでは県内各地で地域性豊かに展開されている「推しの建築活動」を紹介しします。

「オシホン（推しの書籍）」

書籍は、建築の創造力の源です。磯崎氏は建築だけでなく数多くの著書も残しています。このコーナーでは磯崎氏の著書をご紹介しますと共に、建築士の愛読書である「推しの書籍」を展示しします。

「オシケン（推しの建築）」

大分で働く建築士が、それぞれの視点からお薦めする、大分県内の「推しの建築」を展示しします。プロの目を通して見た大分の建築文化を体感することができるコーナーです。



アートプラザ（日・大分県立大分図書館）



県都コア構想 都市計画模型

トークイベント「磯崎新と私」

磯崎氏とつながりのある専門家が、知られざる磯崎氏のエピソードなどを紹介します。第1回は11月5日（日）島岡成治氏（日本文理大学 副学長）、第2回は11月18日（土）青木茂氏（建築家）・菅章氏（大分市美術館館長）です。

最新情報は
こちら→



関連イベント

大分市美術館第3期コレクション展「追悼 磯崎新 ポスト・モダンの時代」

昨年末、この世を去った大分市出身の世界的建築家・磯崎新は、ポスト・モダニズムの旗手として、1980年代の世界的な思潮を牽引しました。ポスト・モダンの傾向は建築分野にとどまることなく、芸術・文化・思想全般に波及しました。磯崎新の代表作だけでなく、大分市美術館所蔵の大竹伸朗、森村泰昌、岡崎乾二郎らの美術作品を通して、ポスト・モダンの時代を観覧します。

会期：9月21日（水曜日）～12月24日（日曜日）
場所：大分市美術館1階 常設展示室3・4
観覧料：一般310円、高校生・大学生210円、中学生以下無料

鉄道模型運転会「オシテツ 推しの鉄道模型」

日時：11月1日（水曜日）～11月5日（日曜日）
午前10時～正午、午後1時～3時
場所：大分市美術館1階 アートラウンジ（図書コーナー側）
協力：上杉一幸氏
観覧料：無料

交通アクセス



・ご来場の際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。
・鉄道、路線バスの検索や、公共交通に関するお好きな情報はこちら→

【バス】 JR 大分新上野の森口（南口）バスのりばから中心市街地循環バス
【大分ちゃんバス】 大分市美術館方面 行約9分
【タクシー】 JR 大分新上野の森口（南口）から約5分
【車】 東九州自動車道 大分 IC から約10分

大分市美術館 〒870-0835 大分市大分上野 865番地
TEL 097-554-5800 FAX 097-554-5811

※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

おおいたの推しの建築展 - 磯崎新と大分のまちづくり -



トークイベント「磯崎新と私」

「おおいたの推しの建築展 - 磯崎新と大分のまちづくり -」に関連してトークイベント「磯崎新と私」を開催します。磯崎新氏と親交の深い専門家の方から、磯崎新氏との思い出や知られざるエピソードなどをお話しいたします。

第1回 11月5日(日) 14:00~16:00 (受付開始13:30~)
大分市美術館 ハイビジョンホール



島岡 成治
日本文理大学 副学長

1953年生まれ。京都大学工学部で建築学(建築論、建築設計)を学び、同大学大学院工学研究科博士後期研究指導認定退学。
1987年日本文理大学工学部建築学科講師。助教授を経て、現在同大学教授および副学長。主な著書は、『建築的場所論の研究』(中央公論美術出版、共著)、『ル・コルビジエ辞典』(中央公論美術出版、共訳)、『大分学・大分案』(明石書店、共著)など。

参加費：無料 定員：50名

参加申込み：各回ごとに URL もしくは QR コードより申込みフォームにアクセスしてください。または下記お問合せ先にご連絡ください。

<https://forms.gle/CPmRmX1BWx4VzgAD6>



第2回 11月18日(土) 14:00~16:00 (受付開始13:30~)
大分市美術館 研修室



青木 茂
建築家

1948年生まれ。1971年近畿大学九州工学部建築学科卒業、1977年アオキ建築設計事務所設立、1990年株式会社青木建築工房に組織変更。2006年-2007年 近畿大学産業理工学部客員教授、2008年-2012年 首都大学東京研究戦略センター教授を務める。現在は大連理工大学客員教授、日本文理大学客員教授、韓国モグジョン大学特任教授、前機工科大学客員教授。主な著書は、『建物のリサイクル』(学芸出版社)、『住む人のための建てもの再生』(総合資格)、『建築再生 未来へつなぐリファイニング建築』(建築資料研究社)など。



菅 章
大分市美術館 館長

1953年生まれ。東京造形大学造形学部美術学科卒業。鳴門教育大学大学院修士課程修了。2010年より大分市美術館館長。企画展として、「ネオ・ダダ JAPAN1958-1998-磯崎新とホワイトハウスの面々-」(1998)、「吉村益信の実験展」(2000)、「村井達吾-思考する石-」(2001)、「アート循環系サイト」(2002)、「磯崎新 美術館と住宅」(2004)、「芸術都市の水脈展」(2015)。主な著書は、『美術館宣言』(日本文教出版、共編著)、『美術館を語る』(風人社、共著)、『ネオ・ダダの逆説 反芸術と芸術』(みすず書房)。

参加費：無料 定員：50名

参加申込み：各回ごとに URL もしくは QR コードより申込みフォームにアクセスしてください。または下記お問合せ先にご連絡ください。

<https://forms.gle/HoQknmbUFs2UQd9P9>



お問合せ先 (公社)大分県建築士会 TEL:097-532-6607 FAX:097-532-6635 E-MAIL:info@oita-shikai.or.jp

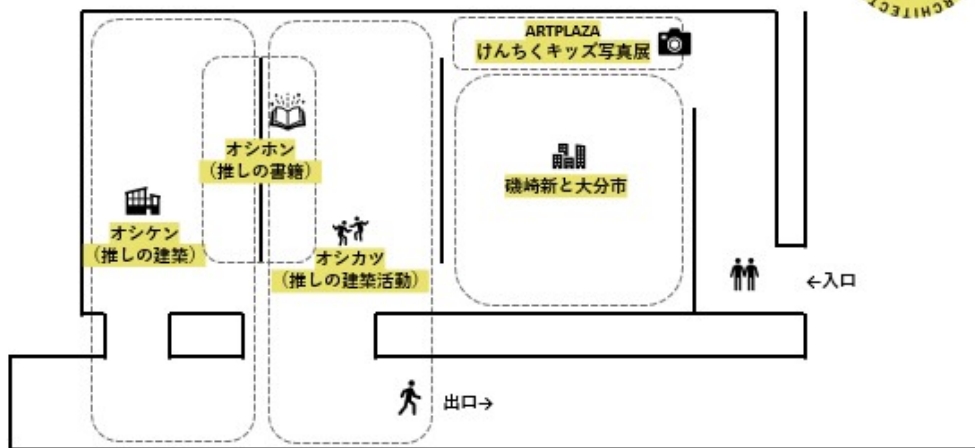
おおいたの推しの建築展 会場案内

ご来場ありがとうございます。

建築や都市はとても大きな存在です。最新の技術で造られ、たくさんのお金がかかり、長い歴史の上に建つ学問でもあります。それ故にわかりにくさがあります。この展覧会では建築関係者だけではなく、広く多くの皆さんにわかりやすく楽しんで頂けることを願いながら企画しました。

「推し」とは、近年使われている造語です。イチオシから派生したものと言われ、人に薦めたいほどのキャラクターやモノを「推し」と呼びます。本展覧会では、大分の建築士たちが推す、すなわち「推し」の建築を展示します。会場を自由に探索して楽しんで頂き「推し」を見つけてください。

会場は下記のテーマに分けて会場構成しています。



SNSに投稿してみよう！

会場で推しが見つかった方、身の回りの推しの建築がある方、ぜひSNSで推してください！大分県内の建築文化を広めてください。**会場内の写真撮影は可能です。**ご自由に写真を撮影してください。※一部撮影不可もございます。#おおいた推しの建築展

推しを見つけてオシールを貼ろう！

受付でお渡ししたオシール（推しのシール）を貼ってください。会場内には、都市、建築、本、活動と様々な展示があります。皆さんが興味を持ってくれた展示にオシールを貼ってください。**展示の説明パネルにオシールを貼る場所があります。**ぜひ「推し」を発見してください！



X



Instagram



Facebook

＼SNS OK／



＼撮影OK／



主催 大分市 + (公社) 大分県建築士会 + 大分市教育委員会

磯崎新大分市美術館連携「おおいたの推しの建築展」今後の日程

磯崎新氏が昨年暮れにお亡くなりになり、その追悼の意味を込めて「おおいたの推しの建築展」が開催されています。

大分支部の会員の皆さんが中心になって進めてきた「大分県建築士会のイベント」です。
磯崎新と大分市、ARTPLAZAけんちくキッズフォトコンテスト作品展、オシカツ(推しの建築活動)、オシホン(推しの書籍)、オシケン(推しの建築)、のテーマで構成されています。

さらには、トークイベント「磯崎新と私」が下記のとおり2回開催されます。

盛沢山のテーマで1か月程開催されますので、是非足を運んで楽しんでください。お待ちしております!!

記

【第1回トークイベント】

講師:日本文理大学 副学長 島岡成治氏

日時:令和5年11月5日(日) 14:00~16:00(開場:13:30)

場所:大分市美術館 ハイビジョンホール

入場料:無料(参加申込みが必要です。)

【第2回トークイベント】

講師:(株)青木建築工房 青木茂氏・大分市美術館 館長 菅章氏

日時:令和5年11月18日(土) 14:00~16:00(開場:13:30)

場所:大分市美術館 研修室

入場料:無料(参加申込みが必要です。)

【最終日】

日時:令和5年11月19日(日) 18:00

絶賛開催中!!

報告 ① 建築物グリーン化促進事業

「令和5年度 第1回技術者向け研修会」の開催



大分県の委託事業として「省エネ建築物の普及促進への体制を整備し、住宅・建築物の環境品質の向上を目指す」ことを目標に小委員会を組織し検討を重ねています。

令和5年10月13日(金) 13時30分から約65名の参加者を迎えて「令和5年度 第1回技術者向け研修」を大分銀行宗麟館5F 大会議室で開催しました。

「建築物グリーン化促進事業建築物グリーン化事業の背景と目的の説明、令和4年度成果報告と令和5年度の事業内容について」を建築物グリーン化促進事業推進小委員会の末成祐二委員長が説明した後、「既存住宅を改修して住み継ぐこと」と題してMs建築設計事務所代表取締役で、一般社団法人住宅医協会 代表理事の三澤文子氏の講演がありました。

引続き「県内事業者による改修事例紹介と講師による講評」では、「温熱環境にフォーカスしたりノベーション」を株式会社幸建設 幸康史氏が、「中古住宅購入から再生まで」をseg住宅建築事務所 瀬口正美氏が事例紹介し、三澤文子さんがそれらの事例について講評して頂きました。質疑応答も活発に行われ、16時30分に終了しました。



建築物グリーン化促進を 県建築士会が研修会



会には約 65 人が出席

県建築士会（幸勝美会長）は13日、大分市内で2023年度第1回建築技術者向け研修会を開いた。建築物グリーン化の促進に向けて県が取り組んでいるグリーン化の促進に向けた一社団法人住宅医療協会の三澤文字子代表理事（M&S建築設計事務所代表、大分市）が講師として紹介した。研修会には会員ら約65人が出席。始めに同会建築技術者向け研修会が、事業の主旨や今後の会の具体的な取り組みについて説明した。

既存住宅を改修して住み続けることと題して講演。設計士でありながら、住宅医療協会の活動で調査診断や改修技術の開発などを進めてきた経験から、既存住宅の改修への取り組みとして五つの柱の既存住宅の調査・診断をする①耐震性能の向上を目指す②断熱性能・省エネの向上③改修プランニングではバリアフリーを意識する④劣化対策メンテナンス容易性に留意する一を紹介。奈良県で築33年、岐阜県で築10年超えの木造倉庫などを改修した事例などを紹介し「地球環境（気候変動）に対応する住宅に改修することで、風景・町並み・住文化を維持する、改修でこそ得られる価値を提案していきたい」と出席者に呼び掛けた。

後半では「県内事業者による改修事例紹介と講師による講評」として、柳幸建（別府市）の幸康史氏とseg住宅建築事務所（大分市）の瀬口正美代表が自社で施工した県内の事例をそれぞれ紹介した。県建築士会では、業者向けや一般向けに広く建築物グリーン化について情報を発信していくとし、次回は11月11日に別府市ヒートコンプラザで開かれる「第1回県民フォーラム」の中でも研修会を実施する。（佐藤方美）

新聞記事: グリーン化促進 技術者向け研修

【大分建設新聞: 令和5年10月20日(金)掲載】※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

報告 ② 和のすまいをつくろうの開催



令和5年10月15日(日)「和のすまいをつくろう」を大分支部造形班が開催しました。将来のすまい手や住まいづくりの担い手となる子供の住意識向上を図る事を目的とし、間取りキットを使って和室の間取りから建物完成まで作成し、その過程を通して「和のすまい」のすばらしさを理解し、建築に興味を持ってもらいます。

13時30分に会場のJ:COMホルトホール大分の和室(402会議室)に、小学生、中学生、60代

の4名の受講生が集まり開始しました。

スタッフは、小関公香さん、野口浩平さん、小田部維さん、高山鮎美さんの4名です。

「日本の住まいの要素」を取り入れた間取りを3時間の中で説明をしながら作成していきました。敷地選びから、家族構成を考えて計画していきました。途中、休憩を兼ねて「木造住宅が出来るまでの工程」をお話して、見学に来られた宇佐支部の光井棟梁より仕口の見本を組み立てながら説明していただきました。

最後に、計画した間取りを紹介していただき感想も発表して16時30分に終了しました。今回学んだ事を日常生活でも意識して過ごしていくと新たな発見につながりそうです。

【参加者の感想】

- 洋風の家に憧れていたけど、作成してみて和の間取りも良いなと思いました。
- 頭で描いていたものを形にできて良かったです。
- 作成してみると合わないところもありましたが、好きなように組み合わせができていくと楽しかった。



参加者募集

県建築士会
大分支部は15日、大分市金池南のホルトホール大分で「和の住まいをつくらう」と題した、間取りキットを使った設計・建築体験ワークショップを開く。現在参加者を募集している。

時間は午後1時30分〜4時30分まで、参加料はキット500円。対象は小学生以上で、定員は15人程度。

申し込みは、参加者の氏名、年齢、連絡先をメールアドレス（info@okai.or.jp）へ送信、もしくは（0907-532-6607）まで。（佐藤万実）

新聞記事:和のすまいをつくらう(事前告知)

【大分建設新聞:令和5年10月7日(土)掲載】

※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

報告 ③ まちづくり・建築よろず相談会の開催

大分市まちなみ企画課・住宅課との協働により大分支部公益事業として、毎月定例で開催しています「まちづくり・建築よろず相談会」が、10月19日(木)10時から15時までJ:COMホルトホール大分のまちづくり情報プラザで開催されました。

この日は相談員の衛藤賢一さんと、田邊健司さんが対応いたしました。



今回は11月16日(木)です。開催案内は、大分市報速報、J:COMホルトホール大分のホームページ(イベントカレンダー)、掲示板、チラシ置き場(市民図書館横の腰壁)でもご案内しております。皆様の周囲の方でご相談を希望する方にお知らせください。

なお、よろず相談員を随時募集していますので、事務局(阿南・山田)までお気軽にご連絡ください。お待ちしております！

電話:097-532-6607

メール:info2@oita-shikai.or.jp

大分市+(公社)大分県建築士会 協働事業

まちづくり・建築よろず相談会

- まちづくりに関する相談
- 住宅に関する相談
 - ・木造住宅の耐震診断、省エネ化
 - ・住宅の計画、リフォーム等
 - ・住宅トラブル・・・など
- 空家に関する相談
 - ・空き家の管理、利活用
 - ・空き家トラブル
 - ・情報提供・・・など

相談料
無料

今後の開催日

10月19日

11月16日

12月21日

1月18日

2月15日

3月21日

大分市と(公社)大分県建築士会の協働により、まちづくりや住宅等に関する身近な相談を受ける場を定期的に開催しています。

- まちづくりに関する相談については、大分市まちなみ企画課が大分市の都市計画や区画整理事業、地域の活性化等の相談を受けます。
- 住宅に関する相談については、大分県建築士会大分支部(建築士会を母体とした会費)が協働事業としての立場から適切な意見やアドバイスをを行います。
- 空家に関する相談については、大分市住宅課(空家相談出張窓口)が相談を受けます。

・開催日: 毎月 第3木曜日 ・場 所: J:COMホルトホール大分1F まちづくり情報プラザ

・時 間: 10時～12時 ・その他: 相談内容がわかる資料をお持ちください (図面、写真、契約書等)

13時～15時

問い合わせ先: 大分市 まちづくり情報プラザ TEL: 097-544-5613
 大分市 住宅課 TEL: 097-534-6111
 (公社) 大分県建築士会大分支部 TEL: 097-532-6607

報告 ④ 建築甲子園大分県大会選考会の開催



工業高校、高等学校、工業高専(3年生まで)を対象とした全国設計競技の「第14回建築甲子園」の大分大会選考会が令和5年10月21日(土)に開催されました。

今年度の課題は、「地域のくらしーまちに住む・地域に開く住まい」です。

応募のあった鶴崎工業高校(2作品)、日田林工高校(1作品)の生徒さん4名と引率教員がiichiko総合文化センター 中会議室に集まり、13時30分から始まりました。

冒頭、幸勝美会長(選考委員長)の挨拶があり、選考委員の板場奈美さん、伊藤憲吾さん、高山鮎美さん、久恒玄季さん(日田支部)の紹介の後、各10分のプレゼンテーションが始まりました。各作品のプレゼン後に選考委員からの質疑があり、応募者は的確に対応していました。どの作品も若い感性で素晴らしい提案・作品でした。

選考委員会で協議の結果、日田林工高校の2年生穴井亨汰さん、武内一紗さんの「地域をつなぐ家」が最優秀賞に選ばれました。

引続き表彰式が行われ、その後集合写真、各応募者の記念写真の撮影会が和気あいあいと行われ、16時頃終了しました。

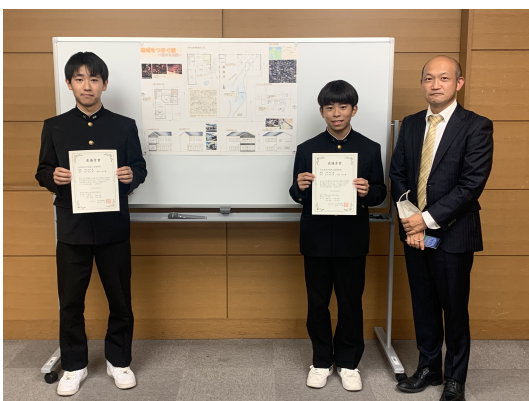
最優秀賞の作品は全国大会へ出品されます。昨年に続いての入賞を期待しています。

【審査結果】

最優秀賞 地域をつなぐ家 日田林工高校2年 穴井亨汰さん、武内一紗さん

優秀賞 ハチハウス 鶴崎工業高校2年 野口心彩さん

奨励賞 無限家族 所有者のいない地域の家 鶴崎工業高校3年 姫野菜綸さん





新聞記事:建築甲子園

【大分建設新聞:令和5年10月28日(土)掲載】

※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

案内 ① 今後のイベント等

※いずれの行事も予定です。中止や延期の場合があります。

【凡例】

★①(黒塗潰し星・数字):「案内①今後のイベント等」で詳細案内

☆①(白抜き星・数字):「案内②定期スケジュール」で詳細案内

11月

- 1日(水) 増改築相談員研修の開催 @コンパルホール
- 3日(金・祝)★①.おりがみ建築教室出前授業 @田尻小学校
- 5日(日)★**必見**.「おおいたの推しの建築展」第1回トークイベント
(島岡成治)
- 8日(水)☆①.監理技術者講習 @事務局会議室
- 11日(土)★②.建築物グリーン化促進事業

「令和5年度 第1回県民向けフォーラム」@ビーコンプラザ

- 14日(火)☆②.建築士定期講習(士会受付) @日田市 AOSE
- 16日(木)☆④.まちづくり・建築よろず相談会 @J:COMホルトホール大分
- 18日(土)★**必見**.「おおいたの推しの建築展」第2回トークイベント
(青木茂・菅章)
- 19日(日)★**必見**.「おおいたの推しの建築展」最終日
- 22日(火)☆③.既存住宅状況調査技術者講習(新規) @事務局会議室
- 26日(金)★③.松村秀一講演会の開催 @NBUエクステンションセンター

12月

- 2日(土) おおいた建築セミナーin竹田
- 6日(水) 本部第2回理事会
- 7日(木) 二級建築士試験合格発表
- 10日(日) 応急危険度判定実施研修 @由布市小野屋
- 14日(木)☆②.建築士定期講習(士会受付) @大分職業訓練センター
- 21日(木)☆④.まちづくり・建築よろず相談会 @J:COMホルトホール大分
- 25日(月) 一級建築士試験合格発表
- 29日(金) 柞原八幡宮参道の年末大掃除の開催

1月

- 10日(水)☆①.監理技術者講習 @事務局会議室
- 16日(火)☆③.既存住宅状況調査技術者講習(変更) @事務局会議室
- 17日(水)☆②.建築士定期講習(協会受付) @大分職業訓練センター
- 18日(木)☆④.まちづくり・建築よろず相談会 @J:COMホルトホール大分
- 26日(金) 建築物グリーン化促進事業
「令和5年度 第2回技術者向け研修会」 @センチュリーホテル

★①.おりがみ建築教室出前授業 @田尻小学校

田尻小学校PTAより「おりがみ建築教室」出前授業の依頼がありました。
コロナ感染も5類に移行されたのをきっかけに、小学校3年生(59名)を対象とした出前授業です。
今回の依頼も地域に根差した公益活動の成果の現れと思います。地域に出向いての活動も展開していきたいと思っておりますので、いつでもお気軽に声をかけてください。

記

日 時:令和5年11月3日(金・祝) 10:30~1時間程度
場 所:田尻小学校 3年生教室(2クラス)
主 催:田尻小学校PTA
費 用:参加児童59名×300円/人=17,700円

★②.建築物グリーン化促進事業

「令和5年度 第1回県民向けフォーラム」@ビーコンプラザ

大分県の委託事業として「省エネ建築物の普及促進への体制を整備し、住宅・建築物の環境品質の向上を目指す」ことを目標に小委員会を組織し検討を重ねています。「第1回県民向けフォーラム」を下記のとおり開催いたします。

今回はエコハウスの第一人者である**武内昌義氏**を講師に迎え、「住まいから考える私たちと地球にやさしい暮らし」について分かりやすくお話していただきます。

また、隣接する芝広場では、「アースデイおおいた2023」も開催されます。

家族、友人、知人、近隣の方々とお誘いあわせの上多数の参加をお願いします。

記

日 時:令和5年11月11日(土) 13:30~16:30(開場:13:00)
会 場:別府市国際コンベンションセンター(ビーコンプラザ)中会議室
(別府市山の手町12-1)

定員:100名

駐車場:野口原駐車場・別府市営駐車場

内容:①基調講演「脱炭素社会の建築」

講師:「みかんぐみ」共同代表 建築家

武内昌義氏

②トークセッション

コーディネーター:竹内昌義氏

パネラー:安藤剛氏 安藤剛設計室代表

綿末しのぶ氏 うちエコ診断士

浅野健治氏 (株)浅野建設/浅野住環境デザイン

下地言奈氏 日本文理大学大学院 工学研究科修士2年

※申込について:下記のURLからお申込みください。

URL⇒ https://x.gd/apply_forum

令和5年度 第1回県民向けフォーラム

住まいから考える わたしたちと地球にやさしい暮らし

気候変動が問題視される中、わたしたちの住まい方も変えていく必要があります。エコハウスの第一人者である建築家・竹内昌義氏を講師に迎え、「住まいから考えるわたしたちと地球に優しい暮らし」について分かりやすくお話ししていただきます。またトークセッションでは、設計者、施工者、環境アドバイザー、異なる立場の県内の有識者を交えて、それぞれの視点から意見を伺い、これからの住まいの在り方について考えていきます。

芝広場では
アースデイおおいた開催中！
詳細は裏面にて。

●日時 令和5年 11月11日(土) 13:30～16:30

●会場 別府山の手町 12-1 B-CON PLAZA
別府市国際コンベンションセンター中会議室

●定員 100名 ●参加費 無料

●駐車場 野口原駐車場・別府市営駐車場



フォーラムへの参加で
エコふあポイントが50P
「エコふあ」は省エネ・省資源など環境にやさしい
活動に取り組む県民の活動を応援するアプリです。もらえます！

構成 第一部 竹内 昌義氏による基調講演 13:30～15:00

「脱炭素社会の建築」

「みかんぐみ」共同代表 建築家
東北芸術工科大学デザイン工学部 建築・環境デザイン学科教授
株式会社 エネルギーまちづくり社 代表取締役

2009年よりエコハウスの研究を始め、2018年には「エネルギーまちづくり社」を設立。エコハウス、学校、商業施設の設計だけでなく、まちごとエコタウンにするまちづくりにも携わっている。
著書に「図解エコハウス」「新しい家づくりの教科書」「原発と建築家」



第二部 トークセッション 15:10～16:30

竹内 昌義氏
安藤 剛氏 安藤剛設計室代表(豊後高田市エコハウス設計者)
綿末 しのぶ氏 うちエコ診断士、大分県環境教育アドバイザー
浅野 健治氏 株式会社 浅野建設 / 浅野住環境デザイン
下地 雪奈氏 日本文理大学大学院 工学研究科 修士2年

事前申込方法

下記 URL もしくはQRコードから電子申請フォームにアクセスして
1人ずつお申込みください。*事前申込期限 11月9日(木)まで
*定員になり次第締め切ります。

URL : https://x.gd/apply_forum
または下記お問合せ先にご連絡下さい。



お問合せ先 (公社)大分県建築士会 TEL: 097-532-6607 FAX: 097-532-6635
E-MAIL: info@oita-shikai.or.jp

※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

建築物グリーン化促進事業 第1回県民フォーラム 共催
「衣・食・住から考える～わたしたちと地球にやさしい暮らし～」

アースデイおおいた 2023秋

11月11日

11:00 ~ 16:30

少雨決行

in B-CON PLAZA 芝広場

ペットボトルキャップ
回収します
本部テントへ

新聞べんり箱づくり開催

マイはし
マイスプーン
マイカップ
マイバッグを
持ってきてね

不要になった
鍵盤ハーモニカ
集めています！
→シキホール笑顔
プロジェクトへ

アースデイは
地球を想って行動する日。
環境や人や動物に
やさしいモノ・コトが
大集合するイベントです♪

第1回県民フォーラム 同時開催！！
13:30~16:30 B-CON PLAZA 中会議室
詳細はチラシ裏面をご覧ください



since 2007

主催：アースデイおおいた実行委員会

共催：(公社)大分県建築士会

後援：大分県、別府市、別府市教育委員会

大分合同新聞社、OAB大分朝日放送

OBS大分放送、TOSテレビ大分、CTBメディア

協力：別府溝部学園高等学校

問合せ先：0977-21-1888

アースデイおおいた実行委員会 事務局

最新情報は
アースデイおおいた
Instagramまたは
Facebookページを
ご覧ください →



記

日時:令和5年11月26日(日) 11:30~13:30

場所:NBU日本文理大学エクステンションセンター 8F視聴覚室
(大分市大手町1丁目1-45)

演題:「(仮題)ひらかれる建築」

講師:松村秀一氏 早稲田大学教授・東京大学名誉教授

参加費:無料

定員:80名(先着順。会員外も参加出来ます)

その他:駐車場がありませんので、近隣の駐車場をご利用ください。

申込:11月22日(水)まで事務局(阿南・山田)にご連絡ください。

電話:097-532-6607 メール:info2@oita-shikai.or.jp

案内 ② 定期スケジュール

☆①.監理技術者講習の開催(監理技術者以外の方も受講可能)

大分県建築士会では毎月建築工事の事例を多く採りあげた内容で「監理技術者講習」を開催しています。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の「建築工事の分野で活躍されている監理技術者」にとりましては、実務に役立つ充実した内容のテキストを使用して講義を行います。講習会日程は下記のとおりです。CPD6単位が付与されます。

なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、是非ご受講ください。

【令和5年度の開催予定】

毎月「第2水曜日」の開催予定です。

○日程:令和5年

4月12日(水) 済

5月 未開催 済

6月14日(水) 済

7月12日(水) 済

8月 9日(水) 済

9月13日(水) 済

10月11日(水) 済

11月 8日(水)

※定員に達した為、受付を終了しました。

12月 未開催

令和6年

1月10日(水)

2月14日(水)

3月13日(水)

○時 間:8:50~16:40〔 受付8:30開始 〕

※8:45~ 8:50の5分間に講習の運営説明があります。

○会 場:(公社)大分県建築士会会議室

○形 式:DVD講習

○定 員:各回3名程度

○受講料:WEB申込 9,500円/窓口・郵送申込 10,000円

※受講申し込みは[日本建築士会連合会HP](#)よりお申してください。

☆②.建築士定期講習の開催

建築士事務所に属する建築士に3年毎の受講が義務付けられた定期講習です。令和5年度の受講対象者には4月上旬に(公財)建築技術教育普及センターより「プレ印字版」の受講申込書がご自宅宛てに送付されています。(前回3年前の講習を、(公財)建築技術教育普及センターで受講した方のみ)

【受講対象者】

前回受講年月日が令和2年4月1日~令和3年3月31日の所属建築士の方

【令和5年度の開催予定】

年8回の開催予定です。会場が大分、中津、日田の3会場です。
また、受付窓口を建築士会、建築事務所協会で担当していますので、
お間違えの無いようお願いいたします。

○日 程:令和5年

4月～6月 未開催 **済**

7月19日(水) **済**

(大分会場/受付窓口:建築士会)

8月23日(水) **済**

(中津会場/受付窓口:事務所協会)

9月 6日(水) **済**

(大分会場/受付窓口:事務所協会)

10月24日(火) **済**

(大分会場/受付窓口:建築士会)

11月14日(火)/10月 2日受付～11月 2日

(日田会場/受付窓口:建築士会)

12月14日(木)/11月 6日受付～定員次第

(大分会場/受付窓口:建築士会)

令和6年

1月17日(水)/12月 4日受付～定員次第

(大分会場/受付窓口:事務所協会)

2月 未開催

3月12日(火)/ 1月22日受付～定員次第

(大分会場/受付窓口:事務所協会)

○会 場:大分、中津、日田の3会場

大分会場/大分職業訓練センター

中津会場/中津建設会館

日田会場/日田市AOSE 多目的ホール

※申込については、窓口申込の他、郵送での申込を受付けています。

※申込書のダウンロードについては、(公財)建築技術教育

普及センターのホームページをご覧ください。

<https://www.jaeic.or.jp/koshuannai/teikikoshu/kteiki/index.html>

※(公財)建築技術教育普及センターでは、講義から修了考査まで全てをオンラインで完結する「オンライン講習」も実施しています。

詳細は、こちらをご覧ください。

[オンライン講習\(WEB講義+WEB修了考査\) 建築技術教育普及センターホームページ \(jaeic.or.jp\)](#)

☆③.既存住宅状況調査技術者講習(新規・更新講習)の開催

改正宅建業法の重要事項説明の既存住宅状況調査をするには、この講習を修了し、登録されることが必要です。

※資格を取得した年度の3年後の年度末までが有効期限となります。

有効期限が終了するまでに更新講習を受講すると継続的に資格を保持できます。

【令和5年度の開催予定】

○新規講習(年1回開催)

日 程: **令和5年11月22日(水)**

開 場: (公社)大分県建築士会会議室

○更新講習(年2回開催)

日程①: 令和5年8月22日(火) **済**

開 場: コンパルホール

日程②: 令和6年1月16日(火)

開 場: (公社)大分県建築士会会議室

申込と詳細については、下記URLの連合会のHPの「既存住宅状況調査技術者講習」をご覧ください。

<https://www.kenchikushikai.or.jp/koshukai/kizonjyutakujoyochosa.html>

【オンライン学習(新規講習・更新講習)のご案内】

インターネット環境の整ったご自宅のパソコンや職場のパソコンにて受講可能です。修了考査の解答までオンラインで完結します。

☆④.まちづくり・建築よろず相談会の開催

本年度の大分支部公益事業として、大分市まちなみ企画課・住宅課と(公社)大分県建築士会の協働により、まちづくりや住宅等に関する身近な相談を受ける場を定期的に開催しています。

今年度より省エネについても相談を受け付けています。下記のとおり開催しますので、皆様の周囲でお困りの方がいましたら周知いただき、お気軽にご相談ください。

❖ 都市計画や、区画整理事業、地域の活性化、まちの景観向上などのまちづくりに関することは、大分市まちなみ企画課が、空き家問題に関することは、大分市住宅課(空き家相談出張窓口)が相談を受けます。

❖ 木造住宅の耐震化や、省エネ、住宅等の設計・増改築、工事、トラブルなどでお困りの相談に、大分県建築士会大分支部会員(建築士資格を持った会員)が建築専門家としての立場から適切な意見やアドバイスを行います。
(現在係争中の案件は相談対象外となります。)

【令和5年度の開催予定】

毎月「第3木曜日」の開催予定です。

(大分市まちなみ企画課・空き家相談出張窓口と同時開催)

○日 程: 令和5年

4月20日(木) 済

5月18日(木) 済

6月15日(木) 済

7月 9日(日) 済「建築士の日」記念事業

7月20日(木) 済

8月17日(木) 済

9月21日(木) 済

10月19日(木) 済

11月16日(木)

12月21日(木)

令和6年

1月18日(木)

2月15日(木)

3月21日(木)

○時 間:10時～12時(休憩)13時～15時

○会 場:J:COMホルトホール大分

1階 まちづくり情報プラザ(図書館入口横)

○相談料:無料

○その他:相談内容がわかる資料(図面、写真、契約書など)があれば
お持ちください。

案内 ③ 連合会からのご案内

▲ 1.建築士賠償責任補償制度(けんばい)

耐震偽装事件以降、国民の建築業界への不信が高まる中、建築物の安全性を確保するために重要な役割を担う建築士として、日々適正な業務遂行のために力を注いでおられることと思います。

一方で、品質管理をどんなに徹底しても、不測の事故が発生してしまう可能性を完全に排除することができないのも現状です。

このような事態に備え、公益社団法人日本建築士会連合会を契約者とし、建築士会会員

が経営・勤務または所属する事務所の方を加入者とする建築家賠償責任保険、請負業者賠償責任保険、サイバーリスク保険の団体契約のご案内です。

建築士としての業務の安定化を図り、不測の事態への賠償資力を確保するために、より多くの会員事務所が本制度にご加入されますようご案内申し上げます。

※概要につきましては、[こちらのチラシ](#)をご覧ください。

※詳しい内容や保険料、お申込みについては[日本建築士会連合会HP](#)をご覧ください。

▲ 2.民間(七会)連合協定工事請負契約約款の改正について

令和5年1月1日付で民間(七会)連合協定工事請負契約約款が改正されています。

1月1日以降現行約款を使用される場合には発注者・受注者間において、工事請負契約約款の特約として、「変更合意書」を締結の上ご使用くださいますようお願い申し上げます。

令和5年度より大分県建築士会事務局では、改正版を取り扱っています。

○金額(税込) 会員:837円 一般:930円

※詳しくは、以下の(公社)日本建築士会連合会ホームページをご覧ください。

<https://aba-svc.jp/cur/main/index.cgi?mode=detail&iid=4&tm=1669102962>

▲ 3.民間(七会)連合協定 小規模建築物工事約款、 マンション修繕工事約款、 リフォーム工事約款の改正について(お知らせ)

民間(七会)連合協定工事請負契約約款(元請契約約款)を令和5年1月1日付で改正することをお知らせいたしましたが、今般、当委員会で発行する「小規模建築物・設計施工一括用工事請負契約約款」「マンション修繕工事請負契約約款」及び「リフォーム工事請負契約

約款」につきましても、令和5年(2023年)2月1日付で同様の改正を行うことと致しましたので、この旨お知らせいたします。

今回の改正の目的は、反社会的勢力排除のさらなる徹底を図るため暴排条項を充実させたこと(三約款共通)並びに危険な盛土等の発生を防止するため建設発生土の搬出先等を明確化すること(小規模建築物工事約款のみ)にあります。

1. 改正内容(新旧対照表)

○小規模建築物・設計施工一括用工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/microbuilding-r0502-old-and-new-list.pdf>

○マンション修繕工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/condominium-r0502-old-and-new-list.pdf>

○リフォーム工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/renovation-r0502-old-and-new-list.pdf>

2. 約款改正日 令和5年(2023年)2月1日(三約款共通)

(改正約款販売開始日2月20日以降)

3. 現行約款への対応

当委員会では、上記のとおり令和5年(2023年)2月1日付で当委員会約款を改正することから、その日以降に現行約款を使用される場合には、発注者・受注者間において、工事請負契約の特約として、別紙「変更合意書」を締結の上、ご使用下さるようお願い申し上げます。

※変更合意書は現行版(令和2年4月改正版)本契約書締結と同時に、別途に双方記名押印して取り交わすことを予定しています。本契約を補充する文書として、200円の印紙の貼付が必要です。

(変更合意書)

○小規模建築物・設計施工一括用工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/microbuilding-r0502-modification-agreement.pdf>

○マンション修繕工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/condominium-r0502-modification-agreement.pdf>

○リフォーム工事請負契約約款

<http://www.gcccc.jp/info/renovation-r0502-modification-agreement.pdf>

▲ 4.免状型の一級建築士登録証明書」の発行

近年、カード型の一級建築士免許証明書の交付を受けた建築士等から、一級建築士の免許を保有している事を証明するものを、建築事務所に掲示したい要望に対応するため、「免状型」の一級建築士登録証明書(事務所等掲示用)を発行する事になりました。

- 発行手数料： 1,780円
- 証明される内容：氏名(フリガナ)、生年月日、登録番号、登録年月日
など

※詳しくは、[こちらのチラシ](#)をご覧ください。

案内 ④ 図書・書式のご案内

▲ 1.各種契約書類及び契約約款(改正版)の発刊

民法等の改正を踏まえた以下の改正版(令和2年4月改正)が発刊されています。

- 「四会連合協定 設計・監理業務委託契約書類」
 - ・一般価格 1,320円(税込)
 - ・会員価格 990円(〃)
- 「四会連合協定 小規模向け設計・監理業務委託契約書類」
 - ・一般価格 1,100円(税込)
 - ・会員価格 880円(〃)
- 「民間連合協定 工事請負等契約約款契約書関係書式」
 - ・一般価格 930円(税込)
 - ・会員価格 837円(〃)
- 「小規模建築物・設計施工一括用工事請負等契約約款契約書関係書式」
 - ・一般価格 900円(税込)

- ・会員価格 809円(＼)
- 「民間連合協定 マンション修繕工事請負契約約款契約書関係書式」
 - ・一般価格 930円(税込)
 - ・会員価格 837円(＼)
- 「民間連合協定 リフォーム工事請負契約書類(書式・約款)」
 - ・一般価格 580円(税込)
 - ・会員価格 522円(＼)
- 改正日 令和2年4月1日

※連合会発行「会報 建築士」令和3年9月号に契約約款の特集記事が掲載されております。

※図書の問合せは、士会事務局までご連絡ください。

電話:097-532-6607 メール:info@oita-shikai.or.jp

連載 まっちゃんの伝建地区を巡る旅



松崎和夫さん(本会事務局長・専務理事)が、建築士会の「おおいた地域貢献・まちづくり推進委員会」の委員長や、「町並みとまちづくりを考える県民の会」にも所属され、伝統的建造物や歴史的な町並みの奥深さに魅了されて、伝建地区を巡っていると聞き、寄稿をお願いしました。

巡り歩いた全国の伝建地区を連載で紹介します。

⑩ 伝統的建造物群保存地区を巡って(番外編)

～フランス「パリ」、「モンサンミシェル」～

これまで地方色豊かなまちを巡ってきたので、こころで少し趣向を変えて番外編として、海外編フランス「パリ」と「モンサンミシェル」をお届けします。コロナ禍直前の令和2年1月にフランスに行く機会があったので、その旅行記よろしく寄稿いたします。多少、田舎坊の自慢話と老人特有の独りよがり感が漂うかもしれませんがご辛抱頂いて、最後までお付き合いください……。

◆パリ中心部、パリ大改造「グラン・プロジェクト」の視点から

今回冬に訪れた理由は、曇天の日が多く、寒さが厳しい、日照時間が短い(実際明るくなったのは8時を過ぎてから)などから、一年中で旅行費用が一番安い時期だからだ。しかも往復の航空券とホテル代のみの旅行商品を購入し、食事などすべて自前の格安旅行であった。



私もつれ合いも日頃の行いが良いとは決して言えないが、予想に反して一週間の滞在中、最後の日のみ霧雨であったが、他は天気も良く、初めの数日はすっきりと晴れ渡っていた。また、ズボン下(スパッツ)や厚めのセーター、ホッカイロなどもたくさんスーツケースに詰め込んで行ったが、日中は汗ばむほどの暖冬でもあった。気候変動の影響か。今回の宿は「ニューホテルオペラ」と称するプチホテルに逗留。サンラザール駅の近くでオペラ座まで約1kmの便利なところであった。

●パリ市庁舎と澄んだ青空



●大邸宅を改修したピカソ美術館



●歴史的な街並みの中で異彩を放つポンピド ーセンター

初日はノートルダム大聖堂の北1kmのマレ地区にあるピカソ美術館パリを訪れた。ピカソの遺族が相続税として物納した作品が多いという事だが、建物は塩税徴収官の邸宅をパリ市が買収し国立美術館として改修したものである。スクラップ&ビルドで新築するのではなく、既存の歴史的建造物を改修するという事は、街並み保存の実践でもある。関係する現地の法律などの知識を持ち合わせていないが、19世紀のオスマンによるパリ大改造時期に衛生環境を整えたり、美観の形成を目的として高さ制限も重視しているようでもあり、歴史的建造物や街並みが保存できる環境が整っていると思われる。

逆に言うと、中心部は低層建築物が連なっていることから、ビジネスや商業的な執務スペース、多くの住民を受け入れる共同住宅などの都市としての多様なキャパシティーが必要となった結果として、シャンゼリゼ通り西方向に位置する、ラ・デファンスという副都心が必要となったとのことだろう。

ピカソ美術館から西方向に歩くとほどなく歴史的な建物の間に突如、派手でカラフルな設備を纏ったポンピドーセンターが現れた。建設当時、歴史の街への挑戦として話題となったことは有名。設計者は関西新空港を手懸けたレンゾ・ピアノとリチャード・ロジャース。4～6階に国立近代美術館が入る現代アートの複合施設である。一部工事中で仮囲いされていたが、仮囲いさえカラフルにデザイン化されていた。



●37万点の所蔵品と三千人の職員を擁する
ルーブル美術館 ガラスのピラミッド廻りの池
は水を張っていなかった



●ルーブル美術館からコンコルド広場(オペリ
スク)を挟んで凱旋門方向を望む

最初にパリを訪れたのは昭和52(1977)年の冬。まだ、オルセーは美術館ではなく多分駅舎であった。美術の教科書でよく目にするモネやピカソなどは、印象派美術館という別の建物で観賞した記憶がある。ルーブル美術館エントランスのI.M.ペイ設計のガラスのピラミッドなどもまだ、出現していなかった。

手前味噌で恐縮するが、これまで海外建築研修旅行を4回企画してきた。1980年当時のアジア一番のノッポビル香港の中国銀行(I.M.ペイ)や香港上海銀行(ノーマン・フォスター)を皮切りに、第2回目はF.L.ライトを訪ねてアメリカ東海岸、3回目はアントニオガウディとル・コルビジエを訪ねる旅、4回目はカルロ・スカルパと歴史的都市を巡るイタリア。ただ、昭和52年のパリ訪問は、日本文理大学と大分県建築士会の共催だったが、士会からは私一人の参加だった。これを入れると、本会の海外建築研修旅行は5回だったことになる。

少し横道に逸れたが、1789年の革命から200年を記念として計画された文化プロジェクト「パリ大改造」(グランプロジェ)。時の大統領ミッテランが手掛けた。オルセー駅の美術館への改修(ガエ・アウレンティ)、アラブ世界研究所(ジャン・ヌーベル)、前出のルーブル美術館改修、ラ・デファンスのアルシュ<新凱旋門>(オット・スプレッケルセン)などを訪れたが、郊外も含め沢山の有名な建

建築物が生まれている。それらをターゲットにする旅もしてみたいものである。

現役時代に都市計画をかじってきた筆者として興味を持つのはやはり、ルーブル美術館からコンコルド広場、シャンゼリゼ通り、凱旋門、新凱旋門までの一部セーヌ川と平行に東西に走る約8kmの都市軸がパリの背骨であり、観光名所もその沿道に張り付いている都心部の構成であること。日本の都市計画コンサルタントが多用する〇〇軸は、パリのこの骨格が発祥ではなかったかと思えてくる。



●さらに、凱旋門から遠くラ・デファンス地区と新凱旋門を望む



●曲線美を誇示しているようなバス停

特にバリアフリーについては、美術館の館内はエレベーター設置などの対策は施されていたが、歩道に展示タイルなどは無かった。路面は自然石の舗石で扇張りされており、長年の車などの通行で一つ一つが丸くなっている。ガタガタ道をとても車いすで通行できる状態ではない。

歴史地区・歴史的建造物故に改修できない環境にあるのだろうが、障がい者が一人で街中を散策するのは難しい状況でバリアフリーの対策は日本の方が勝っているようである。(ただ、ラ・デファンス地区や郊外などの歴史地区以外は今回訪れていないので、そちらの方のバリアフリー施設の状況は分からない。)

街中で見かけたお洒落なバス停。最近、大分市内でも見られるようになったMCDecauxの表示があるバス停にちょっと雰囲気似ている。パリの方が屋根・柱・ベンチの曲線がアールヌーボー様式を彷彿させる。検索してみると日本のMCDecaux社は、フランスのJCDecaux社と日本の大手M商事との合併会社らしい。それで納得！

パリについて語ろうなどという大それたことはできないが、一週間の滞在で訪れた建築物や街並みを中心に今回は纏めた。



美味しいクロワッサンと安いワインを買い込んでのホテルでの毎夕食は少し貧相であったが(これはこれで楽しいのだが・・・)、世界最高峰の美術館巡りや歴史地区のまちなか散策で、もう一方のお腹を満腹にしてシャルルドゴール空港をあとにした。

●セーヌ川越しのオルセー美術館と夜空に青い光を放つエッフェル塔。1時間毎に塔全体の沢山の電飾がバチバチバチと眩く光る。夜もお洒落だ。

連載 ザキヤマさんの秘境奇行



山崎豊史さん(佐伯建設設計部／本会副支部長)が、廃墟や、秘境を巡るマニアックな？趣味をお持ちと聞き、寄稿をお願いしました。

山崎さんが、「秘境めぐり」や「廃村廃墟めぐり」をしようと思ったきっかけは子供の頃から地図を見るのが大好きで都会よりも山岳集落や離島集落での暮らしや歴史に興味を持ち始めたのが始まりで、現地に踏み入り当時の想いを馳せ身をもって体験したいとの思いがあったとのこと。

「秘境めぐり」「廃村廃墟めぐり」を連載で紹介します。

隔月寄稿としました。来月をお楽しみに!!

交流ひろば

日本には広場が少ないと、故 村松幸彦先生(元建築士会会長)がよくおっしゃっていました。多くの参加者が集い、この場が会員相互を繋ぐ「ひろば」になれば良いなあと思います。

話題の建築

寄稿

してください!!

私のほっとHotタイム

残念ながら、今月は寄稿がありませんでした。

自薦、他薦を問いませんので、事務局(阿南・山田)までお気軽にお寄せください。お待ちしております!!

電話:097-532-6607

メール:info2@oita-shikai.or.jp

掲示板 (他団体の案内や新聞記事等の掲示をします)

講演会のご案内:日本建築学会主催の森あゆみさん講演会

講師 森まゆみ

1954年生まれ。大学卒業後、PR会社、出版社を経て、84年、地域雑誌『谷中・根津・千駄木』を創刊。聞き書きから、記憶を記録に替えてきた。その中から『谷中スケッチブック』『不思議の町 根津』(ちくま文庫)が生まれ、その後『驕外の坂』(中公文庫、芸術選奨文部大臣新人賞)、『彰義隊遺聞』(集英社文庫)、『青鞥の冒険』(集英社文庫、紫式部文学賞)、『暗い時代の人々』『聖子』(垂紀書局)、『子規の音』(新潮文庫)、『路上のポルトレ』(羽鳥書店)などを送り出している。2015年以降、大病後の健康維持のため京都にしばしば滞在。「谷根千・記憶の蔵」主宰。

『京都不案内』世界思想社・2022.12:著者紹介 より引用

森まゆみさん

と語り・考えよう

2023年11月10日(金)
18:00~20:00 <入場無料>

アートプラザ 研修室(大分市荷揚町3-31)

アートプラザ
〒870-0046 大分県大分市荷揚町3-31
交通案内 大分駅より徒歩約10分 / バス 大分市役所
大分市役所前下車、徒歩約2分 / E10 東九州自動車道
大分ICから自動車約15分

主催:日本建築学会 大分支部
お問合せは、下記まで
鈴木 真 弘 (日本建築学会 大分支部長・大分大学)
mail:suzumaki@oita-shikai.or.jp
TEL:097-554-7921





女子高生が模型製作体験

県建築士会青年部（松田周作建築設計事務所代表）が「建築模型を活かした設計プロセス」と題した特別講座で、建築模型の必要性や作り方のコツを指導。その後、参加者は3人の有名な建築家の作品、「住吉の長屋（安藤忠雄）」、「塔の家（東孝光）」、「スカイハウス（菊竹清訓）」の3種から好みの作品を鑑賞し、青年部会員の手ほどきを受けながら、ステレオボードを使った実際の50分の1サイズの建物模型製作に取り組んだ。

青年部の野口浩平副部長は「形ができるまでのプロセスを楽しんでもらい、建築や設計業界の道を進んでもらえたらうれしい。今後、も継続して体験会は続けていく」と話した。

ワークショップに参加した大分工業高校1年生で、建築同好会に所属している藤川桜羽さんは「初めて参加したが、学校ではまだ習っていない模型作りを体験出来て、予習のような感覚で楽しい。時間内に作品を完成させた」と感想を語った。（佐藤 友希）

新聞記事：中戸次「よいやかがり火」

石井鏡成さん（有）石井建築研究所/副会長が「戸次本町街づくり協議会」の会長をされています。

【大分合同新聞：令和5年10月7日（土）掲載】

※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

灯籠500個街並み彩る

大分市中戸次で「よいやかがり火」

【大分】大分市中戸次の町に毎年開催。同市出身の歌手、朝風心愛さんが鎮魂歌「よいやかがり火」が、江古時代末期から戦前にかけての歴史建造物を竹ひし灯籠約500個で彩った。「緑口（ろく）」もあり、家族連れらにぎわった。

点火式では主催した戸次本町街づくり推進協議会の石井鏡成会長が「三次の古い街並みを残し、歴史と文化を次の世代に「つなげたい」とあいさつ。石井会長ら7人が竹ひし灯籠に点火した。

戦時時代にあった「購買城・戸次川の合戦」の戦死者の慰霊と地域活性化を目的とした。（坂本陽子）

新聞記事：由布市陸協のロゴ

松田周作さん（松田周作建築設計/常議員）が関与しています。

【大分合同新聞：令和5年10月17日（火）掲載】

※詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

由布市陸協のロゴ完成
芸文短大専攻科・草野さん考案

「選手の背中押せれば」
由布川峽谷、由布岳イメージ

由布市陸上競技協会のロゴコンクールを発表する（右から）西口謙一常務役、藤野優美さん、幸田熱兵衛常務、松田周作講師。大分市上野辻東の県立芸術文化短期大

【大分】県立芸術文化短期大（大分市上野辻）の専攻科4年、芸文短大専攻科の草野さん（芸文短大専攻科）が由布市陸上競技協会のロゴコンクールで優勝し、2つのロゴ案を制作した。

協会は1988年、西尾正徳市長の長寿祝賀会に際して、この年から陸上競技を通じて地域の発展を図り、さまざまな機を生まみ出すべく、松田周作建築設計事務所と連携し、市外の選手が付き合える環境を確保。常務藤野優美の松田周作さん（芸文短大専攻科）に依頼し、44の学生が参加し、10月17日に開催された。市外の選手が付き合える環境を確保。常務藤野優美の松田周作さん（芸文短大専攻科）に依頼し、44の学生が参加し、10月17日に開催された。

市外の選手が付き合える環境を確保。常務藤野優美の松田周作さん（芸文短大専攻科）に依頼し、44の学生が参加し、10月17日に開催された。

大分支部青年部「班員の募集」について



大分支部青年部には、情報班、まちづくり班、造形班の三班があります。

職場も職種も違う年代が集まり、楽しく活動していますが、より発展的な活動のためにも班員が不足気味です。

班員を随時募集してますので、事務局(阿南・山田)までお気軽にご連絡ください。

お待ちしております!!

電話:097-532-6607 メール:info2@oita-shikai.or.jp



大分支部 賛助会員一覧

【法人会員:38社】

- ・日本製鉄(株)九州製鉄所 ・(株)佐伯建設 ・梅林建設(株) ・平倉建設(株)
- ・東九州設計工務(株) ・後藤建設(株) ・鬼塚電気工事(株) ・協栄工業(株)
- ・日本暖房鉄工(株) ・(有)中山建材店 ・野内硝子(株) ・(株)三高産業
- ・(株)総合資格大分支店 ・(株)江藤建設工業 ・(株)建築資料研究社大分支店
- ・(株)飯田建築設計事務所 ・(有)佐藤建築設計事務所 ・(株)熊野建設
- ・柴田建設(株) ・(株)平和建設 ・東洋建販(株) ・(株)大分電設 ・(株)古城

- ・柳井電気工業(株) ・(株)エンワ ・庄司工業(有) ・YKKAP(株)大分支店
- ・オリエント産業(株)大分支店 ・(株)栄工社 ・(株)大分住宅研究室
- ・(株)松村硝子店 ・豊國建設(株) ・新日本法規出版(株) ・新成建設(株)
- ・大分県インテリアコーディネーター協会 ・日本加除出版(株)
- ・積水ハウス(株)大分支店 ・(株)シーピーユー九州支店

【個人会員:16名】

- ・岡本様 ・佐藤様 ・山下様 ・(株)清電社8名 ・(株)安部電業社3名
- ・アトリエ藤原次郎 ・(株)後藤泰幸建築工房

※順不同

賛助会員とは、士会定款第6条第4項に「個人又は団体で本会の事業を賛助するものとする。」と定められた会員の方です。

本会の活動の趣旨に賛成して、助力をいただいております。

法人会員の住所等は、[こちら](#) をご覧ください。

➡ 事務局よりお知らせ

昇降機センター担当の小林優加です。建築士会でお世話になり、約10か月が経ちました。去る9月22日(金)日本教育会館(東京都)で開催の「令和5年度定期調査・検査報告関係団体連絡会議」へ出席の報告をいたします。

大分県全域を対象とした、昇降機(エレベーター・エスカレーター・小荷物専用昇降機・動く歩道・段差解消機・いす式階段昇降機など)や、遊戯施設(コースター・ウォーターシュート・観覧車など)の「定期報告書」を、月に500台分、年間6,000台程の受付し「報告済証」を発行しています。

今回、全国各地から関係者(国土交通省も参加)が集まる、大きな会議に出席しました。全体会議に始まり、分科会に分かれて会議、意見交換会で名刺交換をしました。これから変わってゆく業務について相談相手を沢山見つける事が出来て、良かったです。

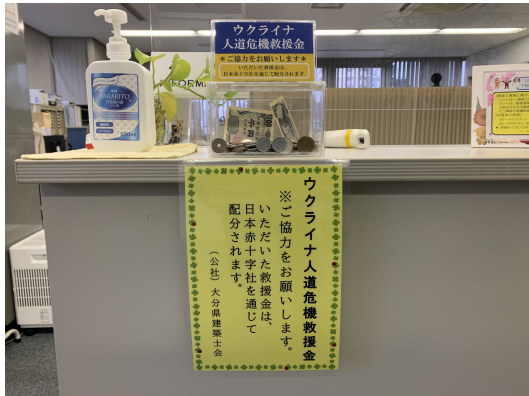
会議の内容では、大地震時におけるエレベーター閉じ込め発生状況の推定と対策についての「システム実験」における閉じ込め要因の再現、対策に関する考察が興味深かったです。

それから、所有者が不安に感じている際の相談先として、エレベーターの保守点検が適切

に行われているかを調査する「エレベーターインスペクション業務」というものが案内されました。

また、昇降機等定期報告のオンライン化について、国土交通省としてオンライン利用率を令和7年度末までに40%とすることを目標値として設定しているとのことでした。

まだまだこれからですが、学ぶことが盛り沢山という事が分かりました。



大分県建築士会事務局に寄せられた「ウクライナ人道危機救援金」の募金額

| | |
|----|---------|
| 1月 | 8,094円 |
| 2月 | 14,332円 |
| 3月 | 5,458円 |
| 4月 | 5,040円 |
| 5月 | 5,383円 |
| 6月 | 5,340円 |
| 7月 | 4,288円 |
| 8月 | 4,282円 |
| 9月 | 5,021円 |

※募金箱は事務局に常設していますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

皆さん!!「事務局ニュース」の紙面づくりに参加しませんか!!

記事投稿、話題提供、ご意見、ご感想などを、事務局(阿南・山田)までお気軽にお寄せください。お待ちしております!!

電話:097-532-6607 メール:info2@oita-shikai.or.jp

※掲載された写真等をご希望の方は、事務局へご連絡ください。



大分県建築士会大分支部メール 2023(令和5)年10月31日発行 第**114**号

事務局:〒870-0045 大分市城崎町1丁目3番31号 富士火災大分ビル3階

TEL:097-532- 6607 FAX:097-532-6635

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

This email was sent to info2@oita-shikai.or.jp

[why did I get this?](#) [unsubscribe from this list](#) [update subscription preferences](#)

大分県建築士会 大分支部 · info2@oita-shikai.or.jp · Oita, 44 870-0045 · Japan

